

平成28年度 市政経営の概要 《施策と予算》

基本計画に位置付けた各施策・事業の着実な推進

4つの重点プロジェクトと2つのアクションにより施策全体を効果的に展開

<4つの重点プロジェクト>



重点プロジェクト1
「強いまち」をつくるプロジェクト
これまでの防災対策の取組に加え、
震災の対応や教訓を踏まえた
災害に強いまち



重点プロジェクト2
「安心して住み続けられるまち」
をつくるプロジェクト
福祉や子育て、教育などの面で、
だれもが安心して
住み続けられるまち



重点プロジェクト4
「うるおいのあるまち」を
つくるプロジェクト
地域資源を生かした環境面等
でうるおいを醸し出すまち



重点プロジェクト3
「利便性が高く快適で
豊かなまち」をつくるプロジェクト
都市構造の変貌を機に、利便性と
快適性を兼ね備えた
にぎわいと交流のある豊かなまち



<2つのアクション>

アクション1「横断的連携による施策の推進」
横断的に取り組むべき主要事業や課題に
ついて、連携体制を構築し、課題解決に向けた取
組を推進

アクション2「調布のまちの魅力発信」
調布の街が大きく変貌する機会を捉え、ソフト・
ハードが一体となった魅力あるまちづくりを推進
し、調布のまちの魅力を市内外に発信

調布市

<市政経営の2つの基本的考え方>

参加と協働のまちづくり
～人と人がつながる市民が主役のまち～

持続可能な市政経営
～質の高い行政サービスの提供～

平成28年度市政経営の概要《施策・予算》Contents

ページ

I 市政の経営方針等	1
1 平成28年度における市政の経営方針について	1
2 平成28年度予算編成方針について	1
II 市政経営の重点	2
1 4つの重点プロジェクト	2
(1) 強いまちをつくるプロジェクト	2
(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト	4
(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト	7
(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト	9
2 平成28年度におけるその他の主な新規・拡充事業等	10
3 計画的な公共建築物の改修・維持保全等	10
4 子ども・子育て分野、福祉分野における新たな課題に対する取組の推進	14
5 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019に向けた取組の推進	15
6 市政経営の2つの基本的な考え方	16
(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人とがつながる市民が主役のまち～	16
(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～	17
III 予算(案)の概要	21
1 市政経営を取り巻く状況	21
2 平成28年度市政の経営方針を踏まえた予算編成過程	22
3 予算規模	23
4 財政フレーム	24
IV 一般会計の状況	26
1 歳入歳出予算の状況	26
2 歳入予算の状況	28
(1) 市税	30
(2) 譲与税・交付金	35
(3) 市債	38
(4) 基金	40
(5) 使用料・手数料	42
(6) 国・都支出金	43
3 歳出予算の状況	44
(1) 目的別予算の状況	44
(2) 市民一人当たりの各目的別予算額	46
(3) 性質別予算の状況	47
(4) 主な予算科目等の状況	48
ア 民生費	48
参考 社会保障関係経費の推移	49
イ 土木費	51
ウ 教育費	52
エ 公債費	54
オ 繰出金(特別会計分)	55
カ 職員人件費	56
(5) 投資的経費	57
V 主要事業概要	59
VI 財政規律ガイドラインから見た 平成28年度見込みと今後の取組	100
VII 特別会計の状況	115
☑ 資料編	127
1 市政の経営方針等	128
2 平成28年度予算編成過程等	143
3 基本計画事業の状況	149
4 平成28年度会計別予算の状況	185
5 データ集(経年比較等データ)	197
6 財政用語の解説	215
予算(決算)の主な用語の解説	215
代表的な財政用語の解説	222
地方財政健全化法	231

強いまちをつくるプロジェクト

「地域の防災力を高める」

- ◆防災市民組織の育成
- ◆調布市災害時要援護者避難支援プランの推進
- ◆防災備蓄品の確保・充実
- ◆災害情報システムの維持管理・充実
- ◆消防水利の整備・維持管理
- ◆消防団の対応能力の向上
- ◆常備消防力の維持・向上
- ◆命の教育活動の推進



「強い都市基盤をつくる」

- ◆特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業
- ◆橋りょうの耐震改修
- ◆下水道施設の地震対策の推進
- ◆住宅の耐震化の促進



安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

「子どもたちの健やかな成長を支える」

- ◆ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業
- ◆子ども・若者総合相談事業
- ◆待機児童対策の推進
- ◆学童クラブ施設の整備
- ◆特別支援教育の推進
- ◆小・中学校施設の整備



「高齢者や障害者の暮らしを支える」

- ◆福祉人材育成拠点の整備
- ◆地域包括支援センターの充実
- ◆介護予防・日常生活支援総合事業の展開
- ◆地域密着型サービスの整備
- ◆特別養護老人ホーム等の整備
- ◆障害者の就労支援

利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

「21世紀の調布のまちの骨格をつくる」

- ◆駅前広場の整備(調布・布田・国領)
- ◆鉄道敷地の整備
- ◆都市計画道路の整備
- ◆調布駅周辺における市街地再開発事業の促進
- ◆自転車等駐車場の整備・有料化



「まちの活力を高める」

- ◆商店街活性化の推進
- ◆民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援
- ◆「映画のまち調布」の推進
- ◆オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

「豊かな水と緑を大切に守り生かす」

- ◆公園・緑地、産緑樹林地の保全
- ◆公園・緑地等の整備
- ◆深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用

「良好な景観を創出する」

- ◆景観計画・景観条例の運用
- ◆深大寺地区におけるまちづくりの推進
- ◆公共サイン計画の検討・運用



本説明資料について

本概要は、平成28年度施策・予算(案)の内容を編集・整理し、できるだけ見やすく、わかりやすくを基本に作成しています。

◇原則的に各表の数値は、各項目の百万円、表示単位未満四捨五入を基本としています。

◇過去の推移は、原則的に当初予算額で表示しています。ただし、市債・基金は残高表示するため決算額を基本に、平成27年度は見込額で表示しています。

◇主要事業や重点プロジェクトの事業費は、各施策の括り方によって、事業費の差異がある場合があります。

I 市政の経営方針等

平成 28 年度は、修正基本計画の 2 年次目として、計画に位置付けた 4 つの重点プロジェクトを基軸に、市内の横断的連携と調布のまちの魅力発信の 2 つのアクション及び調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略を有機的に連動させ、各施策・事業を着実に推進していきます。

市の財政状況は、健全性を維持しているものの、まちの大きな変革期にある中、様々な財政需要から厳しさが続いており、財政構造の見直しと財政基盤の強化は不可欠です。また、国内の社会経済状況においては、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、今後の地域経済や市政への波及効果は、今なお不透明なところがあります。

こうした市政を取り巻く環境の変化や市の財政状況について全職員が共通認識を持って適切に対処するとともに、財政の健全性を維持していく必要があります。その中で、市政の第一の責務として、災害対策の強化など市民の安全を守る取組や市民生活支援を継続し、変革期にある調布市を展望した 21 世紀のまちの骨格づくりや活力とうるおいのあるまちづくり、2019 年ラグビーワールドカップ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた取組など、修正基本計画の推進を着実に図り、まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現に向けた歩みを前進させていきます。

1 平成 28 年度における市政の経営方針について

(平成 27 年 10 月 13 日付け市長通達)

<平成 28 年度市政経営方針骨子>

- (1) 2 つの基本的考え方による市政経営の推進
 - ア 参加と協働のまちづくり
 - イ 持続可能な市政経営
- (2) 4 つの重点プロジェクト及び 2 つのアクションへの取組
 - ア 強いまち
 - イ 安心して住み続けられるまち
 - ウ 利便性が高く快適で豊かなまち
 - エ うるおいのあるまち
- (3) 新たな重要課題への対応
 - ・新たな課題については、財源確保を図るとともに重要性と緊急度を十分精査
 - ・マイナンバー制度、情報システムセキュリティ対策ほか

2 平成 28 年度予算編成方針について

(平成 27 年 10 月 13 日付け行政経営部長通知)

<平成 28 年度予算編成における基本姿勢>

- (1) 基本計画の 4 つの重点プロジェクトを基軸とした各施策の着実な推進と、市民の安全安心の確保と市民生活支援への継続的な取組
- (2) 「選択と集中」の視点から、事業の優先度や内容、規模、効果の厳しい精査と、あらゆる角度からの財源確保、経費縮減への取組
- (3) 財政の健全性を維持するため、複数年次を見据えた財政構造の改善と財政基盤の強化への取組

Ⅱ 市政経営の重点

1 4つの重点プロジェクト

*事業費は原則として100万円未満を四捨五入しています。



計画に位置付けている4つの重点（「強いまち」、「安心して住み続けられるまち」、「利便性が高く快適で豊かなまち」、「うるおいのあるまち」）により重点プロジェクト事業を推進します。

(1) 強いまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

◆ 地域の防災力を高める

自助・共助・公助の基本的な考え方のもと、地域や関係機関等との協働により、地域の防災体制づくりが進み、地域の防災力の向上が図られています。

◆ 強い都市基盤をつくる

特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化や橋りょう・下水道の耐震化が進み、市民の安全を守り、安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりが進んでいます。

◆ 地域の防災力を高める

【平成28年度の主な取組】

- ◇ **防災市民組織の育成（基本計画事業 No.1）＜総務部＞** **400万円**
防災に関する各種講演会や出前講座などの実施や、防災備蓄品の提供などによる支援を行い、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。
- ◇ **調布市災害時要援護者避難支援プランの推進（基本計画事業 No.2）＜福祉健康部＞ ※拡充** **400万円**
調布市災害時要援護者避難支援プランに基づき、災害時に適切に避難することが困難な高齢者や障害者などの避難行動要支援者の名簿を整備し、消防、警察、民生児童委員、福祉関係団体、地域で活動する組織等との平常時からの連携に努め、災害時に自助・共助・公助がそれぞれの力を発揮できる体制の整備を進めます。
- ◇ **防災備蓄品の確保・充実（基本計画事業 No.3）＜総務部＞ ※拡充** **1億1,600万円**
地域防災計画に則した防災備蓄品の確保・充実に努めます。併せて、小学校に2基目となる防災備蓄コンテナの配備を進めるため、小学校3校（設置校は未定）にコンテナを設置します。
また、平成28年度は、避難所運営に資するためのマンホールトイレや非常用小型発電機等の確保・充実を図るとともに、京王相模原線鉄道敷地端部に防災備蓄倉庫を整備します。
- ◇ **災害情報システムの維持管理・充実（基本計画事業 No.4）＜総務部＞ ※拡充** **4,400万円**
地震や風水害などの災害情報を提供する市民向けメールシステムや、防災フリーダイヤルの運用を行うとともに、災害時の情報提供・通信システムの確保に取り組みます。
また、平成28年度は、移動系の防災行政無線のデジタル化に向けた設計を行います。
- ◇ **消防水利の整備・維持管理（基本計画事業 No.9）＜総務部＞** **1億900万円**
災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、防火貯水槽を新設し、災害時の対応能力の維持・向上を図ります。
また、消火栓の新設・維持管理を行います。
- ◇ **消防団の対応能力の向上（基本計画事業 No.10）＜総務部＞ ※拡充** **2,800万円**
火災・災害時における対応能力を向上するため、消防団のポンプ車を更新するとともに、消防団の広域通信手段を確保するための無線環境の整備など、資機材の充実・強化を図ります。
◇消防団ポンプ車更新（1台：第15分団）

◇ **常備消防力の維持・向上**（基本計画事業 No.11）＜総務部＞

4億6,600万円

東京消防庁と連携・協力し、常備消防力の維持・向上を図るため、調布消防署国領出張所及び調布消防署本署の建替えを進めます。平成28年度は、国領出張所の仮設用地の借用のほか、調布署本署の建替用地の取得や調布署本署の仮庁舎の運用に向けた準備を行います。

◇ **命の教育活動の推進**（基本計画事業 No.28）＜教育部＞

400万円

命の尊さを考える授業や、防災に係る地域対象の講座、訓練等を実施する「調布市防災教育の日」の取組を小・中学校全校一斉で実施します。また、普通救命講習を小学校6年生・中学校3年生に実施するとともに、各校2人程度の応急手当普及員の配置を目指し、市立小・中学校全教員に上級救命講習を実施します。

◇平成28年度「調布市防災教育の日」 平成28年4月23日（土）



◆ **強い都市基盤をつくる**

【平成28年度の主な取組】

◇ **特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業**（基本計画事業 No.6）＜都市整備部＞

3億円

震災時の復旧・復興の際、物流の大動脈となる特定緊急輸送道路が沿道の建築物の倒壊により閉塞しないよう、耐震診断、補強設計、耐震改修、建替え及び除却に要する費用の一部を補助し、沿道建築物の耐震化を促進します。

◇ **橋りょうの耐震改修**（基本計画事業 No.7）＜都市整備部＞

1億1,500万円

災害時の救急・救助や資機材等の物流経路を確保するため、橋りょう長寿命化計画に基づき計画的な耐震工事を進めます。また、橋りょうの安全な維持管理のため、橋りょう台帳を整備するとともに、補修工事を行います。

◇平成28年度耐震補強工事：百花苑橋・無名2号橋（府中用水）

◇ **下水道施設の地震対策の推進**（基本計画事業 No.8）＜環境部＞

9,100万円

調布市下水道総合計画及び調布市下水道総合地震対策計画に基づき、災害対応の拠点となる救急病院・避難所等からの排水を受ける管路の耐震化工事を実施し、地震により損傷しやすい下水道管とマンホールの接続部分の可とう化を進めます。

平成28年度は、マンホール70箇所の可とう化工事と今後の管路補強工事に向けた基礎調査を行います。

◇ **住宅の耐震化の促進**（基本計画事業 No.86）＜都市整備部＞ ※拡充

3,300万円

昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された木造住宅の所有者及び分譲マンションの管理組合等に対して、耐震診断、改修等に係る費用の一部助成を実施するとともに、耐震に係る相談会や建築士等の専門家（耐震アドバイザー）を派遣し、耐震意識の普及・啓発を行い、災害に強い住環境づくりに取り組みます。



(2) 安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

安心して子どもを産み育てられる環境づくりが進むとともに、次代を担うすべての子どもたちが夢を持って健やかに育っています。

◆ 高齢者や障害者の暮らしを支える

だれもが安心していきいきとした生活をおくれるよう、高齢者や障害者の暮らしを支える取組の充実が図られています。

◆ 子どもたちの健やかな成長を支える

【平成28年度の主な取組】

◇ ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業（基本計画事業 No.19）＜子ども生活部＞ 1,300万円

子どもの貧困対策として、困難を抱える子ども・若者の総合相談や生活困窮者世帯の子どもを対象とした学習支援等と連携し、ひとり親世帯の子どもに対して、学習支援や相談支援を行います。また、保護者を対象とした相談支援や関係機関によるネットワーク構築により、ひとり親家庭全体の課題解決を図ります。

◇ 子ども・若者総合相談事業（基本計画事業 No.31）＜子ども生活部＞ ※拡充 1,500万円

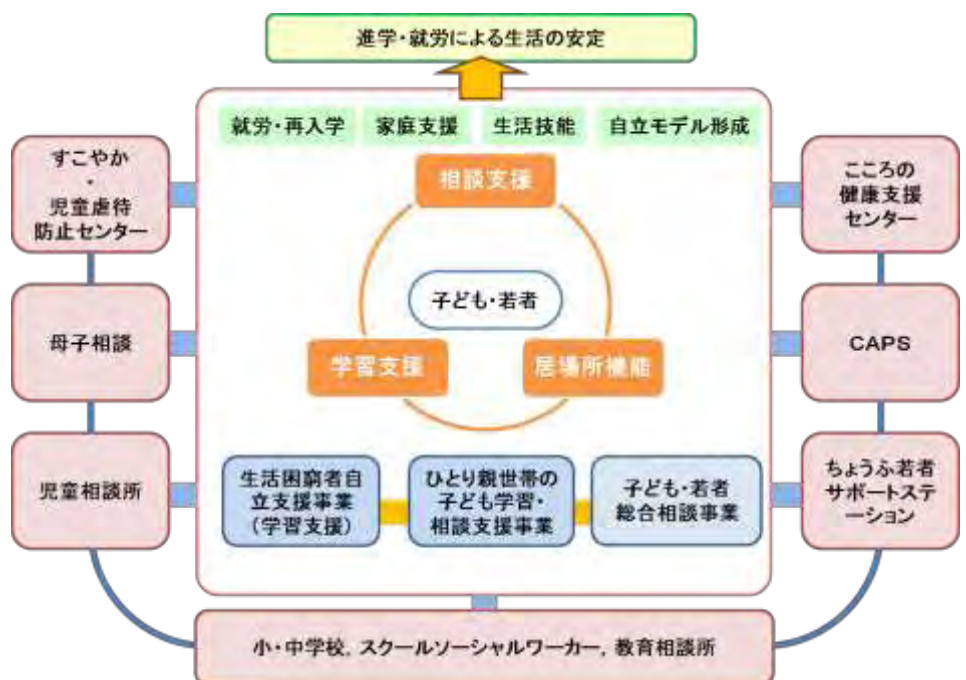
15歳以上の不登校、無業、ひきこもり等の困難を抱える子ども・若者を対象に計画的な支援を行うことを目的に、相談による支援や、子ども・若者の居場所を確保するなどの支援を行います。

また、困難を抱える子ども・若者の自立を目指し、地域の支援団体等との連携を図るための協議の場「調布市子ども・若者支援地域連携会議」を設け、官民が一体となって子ども・若者の実情に応じた支援の提供を目指します。（地方創生加速化交付金（平成27年度補正対応）の活用を予定）

<子ども・若者総合支援事業等の展開イメージ>

調布市では、貧困の連鎖を防止するとともに、社会的に困難を抱えた子ども・若者の自立を支援するため「ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業」、「子ども・若者総合相談事業」、「生活困窮者自立支援事業における子どもの学習支援」を一体的に行う「子ども・若者総合支援事業」を実施しています。

平成28年度は、「調布市子ども・若者支援地域連携会議」を設けるほか、子ども・若者に関する実態調査を実施し、困難を抱える子ども・若者の実情に応じた支援の提供を目指します。（地方創生加速化交付金（平成27年度補正対応）の活用を予定）



◇ **待機児童対策の推進（基本計画事業 No.21）<子ども生活部>** **7億2,800万円**

保育園待機児童の解消に向け、調布市基本計画及び調布市子ども・子育て支援事業計画に基づき、認可保育園等の誘致・整備を行い、計画的に定員拡大に取り組みます。平成28年度は、500人規模の定員拡大を目指し、認可保育園6園の開設誘致に取り組みます。

◇ **学童クラブ施設の整備（基本計画事業 No.22）<子ども生活部>** **5,200万円**

学童クラブとユーフォーとの連携による利用状況を把握しながら、児童の適切な育成環境を確保するため、条例で定めた学童クラブの設備及び運営の基準を踏まえ、調布市基本計画及び調布市子ども・子育て支援事業計画に基づき、計画的に施設整備を進めます。平成28年度は3箇所の学童クラブの整備・開設に取り組みます。

◇ **特別支援教育の推進（基本計画事業 No.26）<教育部> ※拡充** **5,300万円**

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等を含めたすべての障害や学習困難、集団不応等のある児童・生徒に対し、スクールサポーターの小・中学校全校配置や専門家チームの巡回相談等により、個々に応じた教育支援を行います。平成28年度は支援体制の充実に向けて、小学校全校に新たに特別支援教室専門員（都費）を配置します。

◇ **小・中学校施設の整備（基本計画事業 No.29）<教育部> ※拡充** **26億3,200万円**

児童・生徒が良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校施設の計画的な維持・保全を実施し、施設の老朽化対策を推進するとともに、給食室アレルギー対策や、非構造部材の耐震化、避難所機能の向上を進めます。併せて、不足教室への対応や、水飲栓の直結給水化や校庭の一部芝生化に取り組みます。また、今後の長寿命化等施設整備方針の策定検討に向け、校舎の構造体の耐久性調査を実施します。

- ◇児童・生徒数増加に伴う施設整備：普通教室整備4校（滝坂小、深大寺小、北ノ台小、調布中）、
体育館改築工事（五中：H28・29年度で整備予定）
- ◇学校施設の維持保全：給食室改修（アレルギー対策含む）工事（北ノ台小）、
校庭整備工事3校（若葉小・柏野小・四中）、
プール循環浄化装置2校（八雲台小、深大寺小）、
プール水槽改修工事2校（若葉小・調布中）、
受変電設備改修工事3校（調布中、三中、七中）、
防水改修工事5校（三小、若葉小、北ノ台小、五中、七中）
- ◇非構造部材の耐震対策：校舎外壁改修工事7校（三小、若葉小、緑ヶ丘小、北ノ台小、三中、五中、七中）、
体育館外壁等改修工事3校（二小、緑ヶ丘小、四中）
- ◇学習環境の改善：直結給水改修工事3校（一小、調布中、四中）、校庭芝生化（飛田給小学校）
特別教室空調整備設計（理科室、図工室、家庭科室など）
- ◇避難所機能向上（マンホールトイレ、非常電源用設備など）：工事4校（富士見台小、深大寺小、調布中、
八中）
- ◇校舎耐久性調査：2校（染地小・四中）

◆ **高齢者や障害者の暮らしを支える**

【平成28年度の主な取組】

◇ **福祉人材育成拠点の整備（基本計画事業 No.34）<福祉健康部>** **1,500万円**

専門性を備えた福祉人材の確保及び地域の福祉人材の育成を総合的に推進するため、平成27年度に開設した福祉人材育成センターを活用した福祉人材育成事業を推進し、将来にわたって福祉・介護ニーズに的確に対応するための人材の確保と質の向上を図ります。

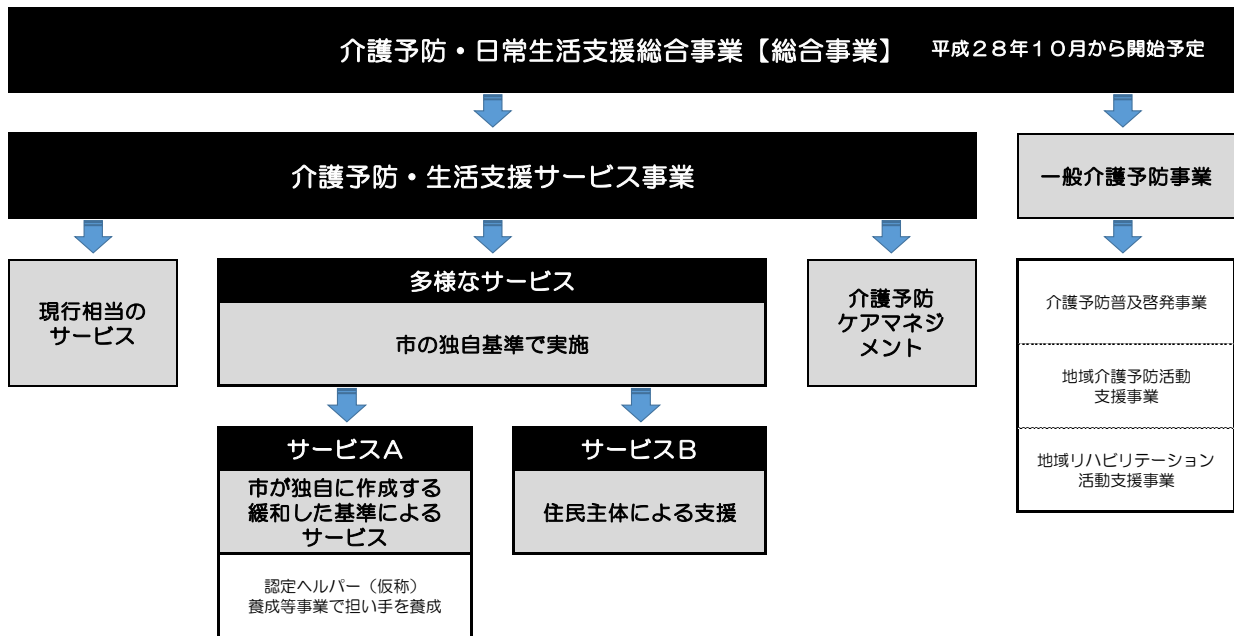
◇ **地域包括支援センターの充実**（基本計画事業 No.35）＜福祉健康部＞ **3億1,000万円**

市内10か所の地域包括支援センターを中核として、高齢者の包括的・継続的なケアマネジメント支援、地域ケア会議等による地域ケア体制の構築に取り組むとともに、多様なネットワークを活用して、介護予防ケアマネジメント、総合相談・権利擁護等の個別支援を行います。また、各地域包括支援センターに専門職を配置し、引き続き、在宅医療・介護連携事業及び認知症支援事業に取り組みます。

◇ **介護予防・日常生活支援総合事業の展開**（基本計画事業 No.37）＜福祉健康部＞ ※拡充 **1億5,600万円**

介護保険制度の改正に伴い、平成28年度から、総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）を開始するとともに、従来の介護予防事業を見直し、介護予防の普及啓発事業やフォローアップ事業、地域での介護予防の継続的な取組を支援します。また、市独自の新たな基準によるサービスを提供する担い手を養成するため、福祉人材育成センターを活用し、市認定ヘルパー（仮称）の育成に取り組みます。

＜介護予防・日常生活支援総合事業の展開イメージ＞



◇ **地域密着型サービスの整備**（基本計画事業 No.38）＜福祉健康部＞ ※拡充 **2,100万円**

認知症や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように支援する「地域密着型サービス」を、市内4つの日常生活圏域（東部、西部、南部、北部）のバランスに配慮しながら整備を促進します。平成28年度は、認知症高齢者グループホーム1箇所及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護1箇所を開設します。

◇ **特別養護老人ホーム等の整備**（基本計画事業 No.39）＜福祉健康部＞ **7,000万円**

引き続き、特別養護老人ホーム等の建設費等の一部を助成することで、整備計画を推進し、要介護高齢者の安定した生活を確保します。

◇ **障害者の就労支援**（基本計画事業 No.42）＜福祉健康部＞ ※拡充 **2億3,300万円**

障害者が一般就労し、安心して働き続けることができるよう、身近な地域において就労面及び生活面の支援を一体的に行い、障害者の就労の促進を図り、障害者の自立と社会参加を促進します。平成28年度は、鉄道敷地端部において、ちょうふだそう・すまいる分室の移転、整備を行うとともに、就労支援体制の充実を図ります。

(3) 利便性が高く快適で豊かなまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

京王線の地下化に連動した21世紀の調布の街の骨格づくりを進め、様々な都市機能の集積、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間の創出により、魅力的な市街地が形成されています。

◆ まちの活力を高める

まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちづくりが形成されているとともに、映画やスポーツなどの地域資源を生かし、まちの活性化が図られています。

◆ 21世紀の調布のまちの骨格をつくる

【平成28年度の主な取組】

◇ 駅前広場の整備（基本計画事業 No.80）＜都市整備部＞

5億6,600万円

京王線連続立体交差事業により鉄道が地下化された調布・布田・国領3駅の駅前広場を南北一体的に整備し、交通結節点としての機能を向上させるとともに、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある駅前広場を計画的かつ段階的に整備します。

平成28年度は、調布駅前広場について北側から段階的に整備を進めるとともに、布田・国領駅の駅前広場について、バス停留所等の上屋の整備工事を進めます。



◇ 鉄道敷地の整備（基本計画事業 No.81）＜都市整備部＞

1,200万円

京王線連続立体交差事業により生み出された貴重な都市空間を有効に活用し、にぎわいや交流、うるおい、やすらぎのある都市空間として、鉄道敷地の整備に取り組みます。

平成28年度は、引き続き測量を行うとともに、自転車駐車場3箇所の整備と2箇所の用地取得、設計を進めます。また、緑道・生活道路の用地取得、設計等を行うとともに、鉄道敷地端部において都市公園と防災倉庫の整備、福祉施設（ちょうふだそう・すまいる分室）の整備・移転を行います。

＜参考＞

○鉄道敷地の整備（全体） 11億1,800万円

（自転車駐車場・都市公園・防災倉庫・ちょうふだそう・すまいる分室等の整備等）

◇ 都市計画道路の整備（基本計画事業 No.89）＜都市整備部＞

15億8,400万円

中心市街地における、道路交通ネットワークの構築と歩行者の回遊性向上を図るため、調布3・4・28号線（蓮慶寺の通り）の用地取得を進めるとともに、一部区間について整備工事を実施します。調布3・4・26号線の布田駅北側（布田駅～旧甲州街道）については、平成29年度の事業化に向けた準備を進めます。

また、調布3・4・32号線（西調布駅北口）及び調布3・4・33号線（飛田給駅南口）の整備工事を進めるほか、調布3・4・21号線（つつじヶ丘駅南口）の用地測量を進めます。

◇ 調布駅周辺における市街地再開発事業の促進（基本計画事業 No.82）＜都市整備部＞

1,400万円

魅力ある商業・業務・住宅施設等の整備とともに、都市計画道路等の公共施設整備により、駅周辺にふさわしい土地の高度利用を図り、にぎわいと活力のある市街地を形成します。

平成28年度は、調布駅北第1A地区市街地再開発事業に伴う道路築造工事を進めます。

◇ 自転車等駐車場の整備・有料化（基本計画事業 No.94）＜都市整備部＞※拡充

9億5,300万円

調布市自転車等対策実施計画に基づき、自転車等駐車場の整備・有料化を図りながら、計画に位置付けた収用台数の確保を進めます。

平成28年度は、鉄道敷地において3箇所の整備、2箇所の用地取得、設計、測量を行うとともに、つつじヶ丘駅北側の自転車等駐車場の整備・有料化に取り組みます。また、調布駅南地下自転車駐車場整備に向けた設計を進めるとともに、既存駐輪場の撤去工事を進めます。

◆ まちの活力を高める

【平成28年度の主な取組】

◇ 商店街活性化の推進（基本計画事業 No.62）＜生活文化スポーツ部＞ 4,400万円

市内全域の商業活性化に向け、調布市商工会、市内事業者、商店会と連携し、買物環境の整備等の支援や商店会が実施するイベント事業等の支援などを通じて、商店会や個店の魅力向上やにぎわい創出を推進します。

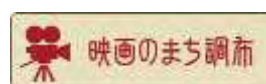
また、商店街の施設整備を支援するため、街路灯ランプのLED化や電気料金、老朽化した街路灯の維持・撤去費用の一部を助成することで、商店街の負担軽減を図ります。

◇ 民間ノウハウを活用した中小企業・小規模事業者の支援（基本計画事業 No.64）＜生活文化スポーツ部＞ 100万円

地域経済の活性化を図るため、市内事業者が抱える課題解決に向け、多摩信用金庫をはじめとする複数の金融機関と締結した「中小企業等支援に関する包括協定」に基づき、創業、事業承継、経営支援、中小企業事業資金融資支援などで連携しながら、創業支援や経営課題に関するセミナーを開催するなど、市内中小企業を支援します。

◇ 「映画のまち調布」の推進（基本計画事業 No.66）＜生活文化スポーツ部＞ ※拡充 800万円

市内映画・映像関連企業・市民団体との連携を図りながら、映画・映像を「つくるまち」、「楽しむまち」、「学ぶまち」をテーマに、積極的なロケ支援や市民・事業者等と連携した映画イベントの支援・協力、世代に合わせた「高校生フィルムコンテスト」等の調布市独自の事業を展開し、広く市民に“映画”に親しんでもらうとともに、観光振興を図ります。



さらに、地域資源である深大寺周辺を活用したイベントや包括連携に関する共同宣言をした「カナダ・ケベック州」と連携した事業を通じて、映画・映像に親しむ機会の創出に取り組んでいきます。

（事業費の一部について、地方創生加速化交付金（平成27年度補正対応）の活用を予定）

◇ オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進（基本計画事業 No.57）＜生活文化スポーツ部＞ 500万円

調布市が開催地となる2019年のラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、バドミントンの講演会、ラグビー体験やトップアスリートと接する機会などを創出するとともに、障害の有無にかかわらず参加できる、ポッチャに親しむイベント等を開催するなど、国や都、関係団体などと連携した取組を推進します。



【調布市で実施される競技等】

◆ 2020年東京オリンピック競技大会（2020.7.24～8.9）

＜東京スタジアム（味の素スタジアム）＞

- ・近代五種（水泳・馬術・ランニング・射撃）
- ・7人制ラグビー

※このほか、サッカーの実施が検討されています。

＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞

- ・近代五種（フェンシング）
- ・バドミントン

◆ 2020年東京パラリンピック競技大会（2020.8.25～9.6）

＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞

- ・車椅子バスケットボール

◆ 2019年ラグビーワールドカップ（2019.9.20～11.2）

＜東京スタジアム（味の素スタジアム）＞

- ・開会式、開幕戦



＜武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）＞

（平成29年竣工予定）

(4) うるおいのあるまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

調布の大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、うるおいのあるまちが継承されています。

◆ 良好な景観を創出する

地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組が進められています。

◆ 豊かな水と緑を大切に守り生かす

【平成28年度の主な取組】

◇ 公園・緑地、崖線樹林地の保全（基本計画事業 No.97）＜環境部＞ ※拡充 3億6,700万円

市民や団体の保全活動への支援や人材の育成などにより、協働による公園・緑地、崖線樹林地の維持保全を進めるとともに、市民が安全で安心して公遊園を利用できるよう公園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持保全を行います。

平成28年度は、深大寺自然広場のトイレ・ホテル小屋改築工事の実施、入間町2丁目地域の崖線樹林地の良好な保安全管理に向けた検討、深大寺元町における地域制緑地制度の活用検討、国分寺崖線（若葉町）の公有化、みんなの森の公有化（公社買戻し）及び国分寺崖線（深大寺元町）の公社取得を行います。

◇ 公園・緑地等の整備（基本計画事業 No.98）＜環境部＞ ※拡充 6,100万円

公園の配置状況や市民の利用ニーズを踏まえ、新たな公遊園の整備や既存の公園・緑地等の再整備を推進します。平成28年度は、（仮称）緑ヶ丘2丁目公園の実施設計を行うほか、鉄道敷地公園（西側端部）を整備します。また、平成27年4月に策定した公園・緑地機能再編指針に基づく、整備プランを作成します。

◇ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用（基本計画事業 No.99）＜環境部＞ 600万円

平成25年度策定の「深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、地域の環境資源の保全・活用に向けた取組を進めます。

平成28年度は、農業・農地を活かしたまちづくり事業を活用し整備した営農支援施設「（仮称）調布市佐須農の家」の運営を開始するほか、引き続き、農業従事者等と意見交換を行い、平成29年度に向けて今後の支援事業を検討します。

◆ 良好な景観を創出する

【平成28年度の主な取組】

◇ 景観計画・景観条例の運用（基本計画事業 No.78）＜都市整備部＞ 600万円

地域の特性を生かした魅力ある景観まちづくりに向け、景観条例・景観計画の適正な運用に取り組みます。

平成28年度は、屋外広告物についての景観形成ガイドラインを策定し、良好な景観誘導の実効性向上を図ります。

◇ 深大寺地区におけるまちづくりの推進（基本計画事業 No.85）＜都市整備部＞ 600万円

深大寺地区の風情ある街なみ景観の維持、保全を図るとともに、地域資源の活用によるにぎわいの創出や地区の回遊性を高めるため、深大寺通り街づくり協議会と連携し、街なみ環境整備事業を推進します。

平成28年度は、公共サイン整備、街なみ整備助成を実施するとともに、市道北136号線ほかの遊歩道・散策路整備に向けた実施設計を行います。

◇ 公共サイン計画の検討・運用（基本計画事業 No.79）＜都市整備部＞ 800万円

調布市公共サイン整備方針に基づき、多言語対応も含め、だれにも分かりやすい公共サイン整備に向けた検討を行います。

2 平成28年度におけるその他の主な新規・拡充事業等 ★は新規事業 ☆は拡充事業

(*)の事業は地方創生加速化交付金(H27 補正対応)の活用を予定しています。

- ☆マイナンバー制度の適切な運用・情報セキュリティ対策の推進
 - ・オープンデータへの取組と地域情報化の推進
 - ・市庁舎の耐震化の推進（公募型プロポーザルによる事業者選定）
- ☆義務教育就学児医療費助成における低所得者負担軽減
- ☆食物アレルギー対策の着実な推進（小学校1校の給食室の改修）
- ☆通学路の安全確保の推進（防犯カメラの設置）
- ★福祉3計画等の改定に向けた市民ニーズ調査及び住民懇談会の実施
 - ・生活困窮者自立支援事業
- ☆生活保護受給者自立支援事業の充実（精神保健福祉士等による健康管理支援）
- ☆発達障害者支援体制整備推進事業における人員体制の充実
- ☆重度知的障害者施設への人員体制の充実
- ★胃がんリスク検査（ABC検診）の実施
- ★出産・子育て応援事業（妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援）
- ☆妊婦健診の助成の充実（HIV抗体検査、子宮頸がん検診項目の追加）
- ☆水木しげる氏関連事業の推進と図書資料の充実(*)
- ★調布市立図書館50周年事業の実施（記念講演会の実施、記念誌の発行等）
- ★金子地域福祉センターの施設改善
- ★小学生英語体験事業（姉妹都市木島平村で実施する国際交流事業）
- ★さがす見つかるシステムのポータルサイト化
 - ・都市農業活性化支援事業の実施（平成27年度までは都市農業経営パワーアップ事業）
- ☆都市農業経営育成対策事業の充実
 - ・文化会館たづくり・グリーンホールの改修
- ☆路面下空洞調査の実施
- ☆柴崎駅周辺における交通環境の改善に向けた検討
- ☆スタジアム通り等の無電柱化（工事）
- ★飛田給駅周辺交通環境調査の実施
- ☆居住支援協議会による居住支援の検討、空家の意向調査
- ★ごみアプリの導入
- ★公営企業会計導入に向けた下水道施設の固定資産台帳整備
 - ・クリーンセンター機能の再編・移転に向けた取組（用地取得・設計等）

3 計画的な公共建築物の改修・維持保全等

調布市は、「市役所庁舎」・「文化会館たづくり」などの大規模な建築物から、「図書館分館」・「ふれあいの家」のような小規模な建築物まで、300を超える公共建築物を保有しています。

これらの公共建築物は、市が発展し人口が急増した昭和40～50年代（1965～1975年頃）に建設した施設が多く、経年劣化が進んでいます。

公共建築物の維持保全上の現状と課題を踏まえ、維持保全の基本的な考え方や整備の方針、維持保全の優先順位などを明らかにした「公共建築物維持保全計画」を平成22年3月に策定しました。

維持保全計画については、基本計画と整合を図り、今後も計画的な維持保全を進めることとしています。また、維持保全と合わせて、児童・生徒数の増加等への対応（校舎等の増改築）や環境配慮等の取組など、ニーズに応じた機能向上のために必要な対策を講じていきます。

平成28年度における公共建築物の改修・整備については、児童・生徒数の増加に対応した体育館の改築や教室の改修のほか、公共建築物維持保全計画に基づく、学校施設の老朽化対策、文化会館たづくり・グリーンホール、地域福祉センターなどの施設改修を行います。

◇ 改修等の概要

(単位：百万円)

維持保全等工事内容	計画		取組予定					
			平成27年度 3月補正対応		平成28年度実施		合計	
	建築物数	事業費	建築物数	事業費	建築物数	事業費	建築物数	事業費
増築・改良工事等	7	2,042	—	—	15	1,265	15	1,265
老朽化に伴う工事等	42	2,685	3	130	46	2,887	49	3,017
合計	49	4,727	3	130	61	4,152	64	4,282

※建築物数欄には、「設計・工事等の実施施設が未定の学童クラブ・小中学校」「小口修繕」等を除いた建築物数を記載しています。

※増築・改良工事等における計画からの主な減要因：クリーンセンター機能移転の事業手法見直しによる進捗調整など

(H28計画：工事940百万円 ⇒ H28取組予定：設計109百万円)

◇増築・改良工事等

(単位：千円)

建築物の名称	平成28年度計画		平成28年度取組予定			
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成27年度 3月補正対応	平成28年度 実施	合計
学童クラブ整備	設計・工事	49,530	設計・工事		39,213	39,213
ちょうふだそう・すまいる移転	設計・工事	100,000	工事・工事監理		164,990	164,990
クリーンセンター機能移転	工事	940,220	設計 ※事業手法見直しによる進捗調整		108,915	108,915
第一小学校	工事（直結給水化）	30,000	工事（直結給水化）		30,000	30,000
飛田給小学校			工事（校庭芝生化）		25,000	25,000
滝坂小学校			工事（普通教室）		40,000	40,000
富士見台小学校			工事（避難所機能整備）		23,100	23,100
深大寺小学校			工事（普通教室、避難所機能整備）		53,100	53,100
染地小学校			工事（プレイルーム空調）		5,000	5,000
上ノ原小学校			工事（給食休憩室空調）		3,000	3,000
北ノ台小学校			設計（校舎増築）、工事（普通教室）		65,000	65,000
小学校改良工事等	設計（校庭芝生化・避難所機能整備・特別教室空調設備）、工事（校庭芝生化・避難所機能整備・体育館飛散防止フィルム設置・洋便器化・空調更新）、空調リース、室内環境衛生検査、耐久性調査	286,167	設計（校庭芝生化・避難所機能整備・特別教室空調設備）、工事（空調更新）、空調リース、室内環境衛生検査、耐久性調査		174,211	174,211
調布中学校	工事（直結給水化）	30,000	工事（直結給水化、避難所機能整備、普通教室）		96,600	96,600
神代中学校	設計（校舎増築）	80,600	設計（校舎増築）、遺跡調査		51,500	51,500
第四中学校	工事（直結給水化）	30,000	工事（直結給水化）		30,000	30,000
第五中学校	設計・工事（体育館改築、校庭整備）	381,880	工事（体育館改築、校庭整備）		269,038	269,038
第八中学校			工事（避難所機能整備）		23,100	23,100
中学校改良工事等	設計（避難所機能整備、特別教室空調設備）、工事（避難所機能整備、洋便器化）、空調リース、室内環境衛生検査、耐久性調査	113,876	設計（避難所機能整備、特別教室空調設備）、空調リース、室内環境衛生検査、耐久性調査		63,676	63,676
		2,042,273		0	1,265,443	1,265,443

◇老朽化に伴う工事等

(単位：千円)

建築物の名称	平成28年度計画		平成28年度取組予定			
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成27年度 3月補正対応	平成28年度 実施	合計
市役所庁舎			改修（議会棟トイレ）		7,990	7,990
多摩川児童館	改修（空調）	4,000	※内部再調査の結果、劣化度を踏まえ再調整		0	0
深大寺児童館	改修（外壁・屋上防水）	18,100	改修（外壁・屋上防水）		24,538	24,538
緑ヶ丘児童館			改修（空調）		13,392	13,392
ちょうふの里	改修（自動火災報知機・直流電源）	77,210	改修（自動火災報知設備）、設計（屋内防水）		87,786	87,786
総合福祉センター	改修（空調設備等）	211,676	改修（蓄電池設備、空調設備等）		203,099	203,099
文化会館たづくり	劣化診断調査、改修（電気ボイラー、防災設備受信機、非常用発電機冷却塔設置、中水処理設備油水分離槽防食）など	139,658	改修（くすのきホール舞台機構設備・電力増幅器類・ホール系主操作盤・吊物用制御盤、照明制御機器、大規模改修実施手法検討）など		270,469	270,469
グリーンホール	劣化診断調査、改修（小ホール付加設備改修、楽屋）など	180,309	劣化診断調査、改修（受変電設備操作用・非常照明用蓄電池設備）		40,774	40,774
金子地域福祉センター	改修（外壁・電気・給排水設備）	60,659	改修（外壁・電気設備・空調・トイレ・ガス配管）など		97,200	97,200
西部地域福祉センター	改修（外壁・屋上防水）	23,102	改修（外壁・屋上防水・空調・トイレ）	60,209	0	60,209
染地地域福祉センター・図書館染地分館	設計（空調・電気設備）	3,252	改修（空調）	27,000	0	27,000
八雲台ふれあいの家	改修（外壁・屋上防水）	3,176	改修（外壁・屋上防水）		10,098	10,098
富士見町ふれあいの家	改修（屋上防水）	909	※内部再調査の結果、劣化度を踏まえ再調整		0	0
野ヶ谷ふれあいの家	改修（屋上防水）	1,189	改修（屋上防水）		8,770	8,770
国領第2ふれあいの家	改修（外壁・空調）	4,969	改修（外壁・内装・空調）		10,822	10,822
第一小学校	改修（受水槽）	17,325	改修（受水槽）		17,325	17,325
第二小学校	改修（体育館屋根・外壁）	66,817	改修（体育館屋根・外壁）		66,817	66,817
第三小学校	改修（高置水槽・屋上防水・外壁）	123,869	改修（高置水槽・屋上防水・外壁）		122,474	122,474
八雲台小学校	改修（プール循環浄化装置）	11,550	改修（プール循環浄化装置）		10,000	10,000
滝坂小学校	改修（受水槽）、設計（擁壁）	34,365	改修（受水槽）、設計（擁壁）		34,365	34,365
深大寺小学校	改修（受水槽・プール循環浄化装置・プール水槽）、設計（体育館内部）	45,666	改修（受水槽・プール循環浄化装置）、設計（体育館内部）		38,968	38,968
上ノ原小学校	改修（体育館内部）	57,509	改修（体育館内部）		57,509	57,509
石原小学校	改修（高置水槽）、設計（体育館内部）	18,409	改修（高置水槽）、設計（体育館内部）		18,409	18,409
若葉小学校	改修（屋上防水・外壁・校庭）、設計（体育館内部）	130,891	改修（屋上防水・外壁・校庭・プール水槽）、設計（体育館内部）		133,298	133,298
北ノ台小学校	改修（給食室、屋上防水、外壁）	305,635	改修（給食室、屋上防水、外壁）		305,635	305,635
緑ヶ丘小学校	改修（体育館内部、体育館屋根・外壁、外壁）	153,432	改修（体育館内部、体育館屋根・外壁、外壁）		193,432	193,432

(単位：千円)

建築物の名称	平成28年度計画		平成28年度取組予定			
	事業内容	計画事業費	事業内容	平成27年度 3月補正対応	平成28年度 実施	合計
飛田給小学校	改修（高置水槽）	12,474	改修（高置水槽）		12,474	12,474
柏野小学校	改修（校庭）	17,325	改修（校庭）		25,000	25,000
調和小学校	設計（設備改修）	40,000	※不足教室対策を優先し再調整		0	0
小学校電気設備等	改修（電気・機械・防災設備）	30,000	※他の改修工事に組替え		0	0
調布中学校	改修（プール水槽，受変電設備）	39,545	改修（プール水槽，受変電設備）		39,545	39,545
神代中学校	設計（体育館内部）	11,752	設計（体育館内部）		11,752	11,752
第三中学校	設計（第二体育館内部），改修（受変電設備，外壁）	110,493	設計（第二体育館内部），改修（受変電設備，外壁）		108,068	108,068
第四中学校	改修（体育館屋根・外壁，校庭）	66,759	改修（体育館屋根・外壁，校庭）		99,434	99,434
第五中学校	改修（屋上防水，外壁）	98,076	改修（屋上防水，外壁）		95,000	95,000
第六中学校	改修（受水槽）	22,365	改修（受水槽）		22,365	22,365
第七中学校	改修（受変電設備，屋上防水，外壁）	111,536	改修（受変電設備，屋上防水，外壁）		107,640	107,640
中学校電気設備等	改修（電気・機械・防災設備）	30,000	改修（電気・機械・防災設備）		30,000	30,000
郷土博物館	改修（空調）	36,462	改修（空調）		37,912	37,912
武者小路実篤記念館	改修（空調）	43,140	改修（空調）		39,148	39,148
北部公民館	改修（昇降機）	20,000	改修（昇降機）		26,371	26,371
図書館富士見分館・富士見保育園	設計（外壁・屋上防水・受変電・電気設備）	8,035	設計（外壁），改修（4・5歳児室等）		13,758	13,758
東部公民館・東部保育園・東部児童館			改修（防球ネット・調理室・保育室等床）		47,652	47,652
西部公民館・西部児童館	改修（昇降機）	20,000	改修（昇降機）		26,371	26,371
図書館神代分館・神代保育園			設計（調理室）		3,247	3,247
上石原保育園・上石原ふれあいの家			改修（4歳児室・廊下床）		2,234	2,234
総合体育館	設計・改修（昇降機・プールトップライトほか）	87,746	設計・改修（昇降機，中庭段差）		52,126	52,126
市民プール			改修（配管）など	43,200	0	43,200
市民多摩川テニスコート	改修（クラブハウス外部）	6,530	※内部再調査の結果，劣化度を踏まえ再調整		0	0
市民緑ヶ丘テニスコート	改修（クラブハウス外部）	8,583	改修（クラブハウス外部）		28,032	28,032
西町サッカー場			改修（不陸整正）		42,854	42,854
南部ゲートボール場			改修（人工芝）		16,332	16,332
深大寺市営住宅			改修（污水管，雑排水管，物置解体）		13,853	13,853
八雲台市営住宅			改修（雑排水管）		1,656	1,656
富士見第1市営住宅			改修（雑排水管）		1,656	1,656
小口修繕		170,513			209,402	209,402
計		2,685,011		130,409	2,887,052	3,017,461

4 子ども・子育て分野，福祉分野における新たな課題に対する取組の推進

<1> 子ども・子育て分野，福祉分野の新たな課題に対する取組

調布市では，子ども・子育てに関する新制度や介護保険制度の改正など，近年の子ども・子育て分野，福祉分野における新たな課題に適切に対応するため，子どもの貧困対策や子ども・若者総合支援，生活困窮者自立支援など，事業の充実や新規事業の開始に取り組んでいます。

<2> 平成28年度の主な取組

●子ども・子育て支援新制度による取組

- ☆認可保育園の開設誘致
- ☆学童クラブ施設の整備（計画的に施設整備を推進）
- ・ユーフォー（放課後子供教室事業）の実施
- ・子育てひろば事業の実施
- ・ファミリー・サポート・センター事業の実施（一時預かり保育・子育て短期支援事業・子育て援助活動支援事業）
- ☆学童クラブ運営の充実（全学童クラブで育成時間延長）
- ・子どもショートステイ事業の実施
- ・病児・病後児保育事業の実施（市内2箇所）

●妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援に向けた新たな取組

- ★出産・子育て応援事業（保健センターや子ども家庭支援センターなどが連携して，すべての子育て家庭に対して，妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指して実施）

●子ども・若者への総合的な支援の取組

- ☆子ども・若者総合支援事業
社会的に困難を抱える子ども・若者の自立を支援し，貧困の連鎖を防止するため，総合福祉センターにおいて，学習支援事業，居場所事業，相談事業を一体的に行う「子ども・若者総合支援事業」を実施
 - ・子ども・若者総合相談事業の実施（*）
 - ・ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業の実施（ひとり親世帯の子どもを対象とした学習支援や当該子ども及び保護者を対象とした相談支援を実施）
 - ・生活困窮者自立支援事業の充実（生活困窮者世帯の子どもの学習支援事業）
 - ★子ども・若者支援地域連携会議の設置（*）
 - ★子ども・若者実態調査の実施（*）
 - ・子どもの居場所事業への助成（*）
- （*）の事業は，地方創生加速化交付金（平成27年度補正対応）の活用を予定

●生活困窮者自立支援への取組

- ☆生活困窮者自立支援事業の充実
- ・自立相談支援事業
- ・住居確保給付金事業
- ・子どもの学習支援事業【再掲】

●介護保険制度改正に関連した取組

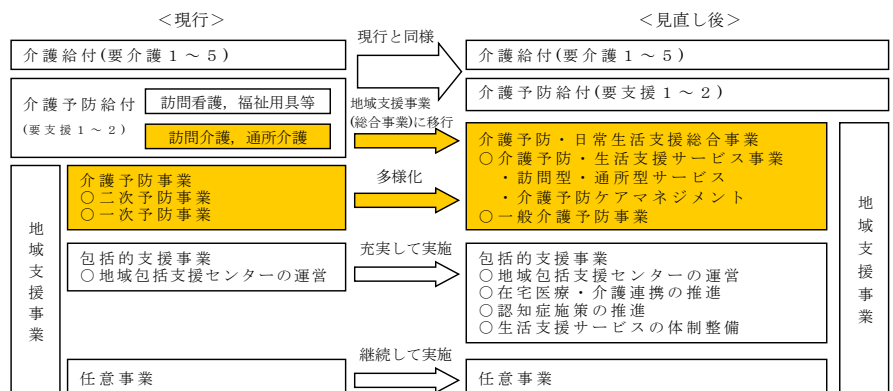
★介護予防・日常生活支援総合事業の展開

- ・介護予防・生活支援サービス事業
- ・一般介護予防事業
- ・認定ヘルパー（仮称）養成等事業
- ・地域包括支援センターの充実
- ・在宅医療・介護連携推進事業
- ・認知症総合支援事業
- ・見守りネットワークの推進
- ・生活支援体制整備事業

※その他関連事業

- ・福祉人材育成事業の推進

<介護保険制度の改正に伴う見直し(介護予防給付の見直しと地域支援事業の充実)>



5 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019に向けた取組の推進

<1> 取組の視点

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ2019を契機として、調布市基本計画と連動した取組を、国や都、近隣市、関係団体とも連携・協働して推進し、スポーツ振興、文化振興、産業・観光振興、国際交流、平和事業、青少年の健全育成など、まちづくりへの効果とレガシーを創出し、調布市と多摩地域の振興につなげていきます。

<2> 主な取組及び平成28年度予算（予定）

●オリンピック・パラリンピック等の開催に向けたスポーツ機会の充実

- ★オリンピック交流事業、講演会（バドミントン）
- ★ボッチャ教室・大会の開催
- ★（仮称）ラグビーフェスティバルの開催（近隣市と連携した取組）
 - ・小学生陸上体験教室の開催
- ☆スポーツ施設整備 ラグビーゴールポストの設置（調布基地跡地内運動広場E3グラウンド）、西町サッカー場ラグビー兼用グラウンド整備、南部多目的運動広場の整備、総合体育館のバリアフリー対応など



小学生陸上体験教室

●オリンピック・パラリンピック等を契機とした文化、観光等の振興、機運の醸成

- ・近隣市と連携したレンタサイクル事業
- ・深大寺周辺の公衆無線LAN環境の維持・管理（平成27年度整備）
- ★天神通り周辺の公衆無線LAN環境整備
- ・外国語版観光マップ、外国語版深大寺散策マップの作成
- ★オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップに向けた機運醸成、レガシー創出に向けた検討調査の実施



深大寺公衆無線LAN環境のマーク

●来街者にとっても魅力的な街づくりの推進

- ・駅前広場の整備
- ・公共サインの整備
- ・自転車推奨ルートの検討（東京都と連携）
- ・鉄道敷地の整備
- ・市道の無電柱化（スタジアム通り等）
- ・民間商業施設等との連携

●オリンピック・パラリンピックを通じた国際交流・平和の推進

- ・ホストタウンとしてサウディアラビア大使館と連携
- ・サウディアラビアンフットサル国際親善カップ
- ・小・中学生を対象としたサウディアラビア大使館、アラブイスラーム学院などの訪問事業
- ・都市ボランティアの育成（東京都や国際交流協会と連携）



サウディアラビアンフットサル国際親善カップ

●オリンピック・パラリンピック教育の推進

- ・オリンピック・パラリンピック教育推進校における講師等を招いた取組や、文化・国際交流授業、スポーツ大会の開催など
- ★小学生のタグラグビーの推進



パラリンピアン秋元妙美氏講演会（平成27年度取組）



オリンピックによるかけっこ教室（平成27年度取組）

●近隣市等との連携した取組

- ★（仮称）ラグビーフェスティバルの開催（近隣市と連携した取組）【再掲】
- ・小学生陸上体験教室【再掲】
- ・近隣市と連携したレンタサイクル事業【再掲】
- ・多摩川流域連携会議において構成各区市の取組等の意見交換・情報共有を実施
- ★東京都市オリンピック・パラリンピック連絡協議会における情報共有・意見交換※
 - ※平成27年11月設置。平成28年1月29日に第1回連絡協議会を開催（26市で構成）
 - （平成27年度体制 幹事長市：調布市 副幹事長市：青梅市、昭島市、町田市、小平市）

●その他の取組

- ★オリンピック・パラリンピック担当の配置
- ★庁内連携会議を設置（全体の取組方針、各部門の方向等を協議調整）
- ★関係団体との情報共有や意見交換を進める連携会議を開催

6 「市政経営の2つの基本的な考え方」

「参加と協働のまちづくり」、「持続可能な市政経営」という市政経営の2つの基本的な考え方を踏まえ、限りある経営資源を最大限に活用するとともに、行政運営の仕組みを検証し、簡素化・効率化することで、質の高い市民サービスを将来にわたり持続的に提供することを目指し、「行革プラン2015」に取り組みます。

(1) 参加と協働のまちづくり ～人と人がつながる市民が主役のまち～

◆ 市民参加プログラムに基づく市民参加の推進

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン1 市民参加・協働の仕組みづくり<担当：政策企画課・協働推進課>

市民参加と協働を推進するため、「調布市パブリック・コメント手続条例」や「調布市審議会等の会議の公開に関する条例（平成28年4月施行）」、「市民参加プログラム」等の課題整理を行いながら適切な運用に取り組みます。

◆ 参加と協働の推進のための環境整備

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン2 市民活動・地域コミュニティ活動を促進するための支援の充実<担当：協働推進課>

市民活動や地域コミュニティ活動の活性化を促進するため、平成27年度に実施した市民活動支援センターに関するニーズ調査の結果を踏まえ、市民活動支援センターにおける機能の改善等について検討します。また、地域活動情報紙等を活用して、地域における様々な活動に関する情報提供に取り組みます。

◇ プラン3 地域福祉センターの在り方検討<担当：協働推進課・福祉総務課>

地域に根づいたコミュニティ活動の拠点として利用されている地域福祉センターに関して、市民ニーズや地域福祉センターに求められる機能等を検討した結果に基づき、地域の特性等を踏まえた取組について検討・実施します。

◆ 市政情報の積極的な提供

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン4 積極的な市政情報の提供<担当：広報課>

積極的かつ効果的・効率的に市政情報を提供するに当たり、ウェブアクセシビリティに配慮したホームページの作成や、ホームページへの動画掲載、ソーシャルメディアを活用した情報発信に努めます。また、調布のまちの魅力発信事業の充実を図ります。

◇ プラン5 オープンデータへの取組<担当：総務課・情報管理課>

市が保有するデータについて、統一的なルールに基づき、市民や事業者などが利用しやすい形で公開するとともに、市民、事業者、教育機関等による議論を踏まえ、オープンデータの取組を通じた地域情報化の推進に取り組みます。

(2) 持続可能な市政経営 ～質の高い行政サービスの提供～

◆ 効率的で機能的な組織・システムづくり

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン7 組織体制の整備<担当：行財政改革課・政策企画課>

組織横断的な連携を推進し、常勤職員定数の抑制に努める中で、施策や事業を効率的に推進するための執行体制の整備に取り組むことで、簡素で効率的な組織・人員体制を目指します。

◇ プラン8 監理団体改革の促進<担当：行財政改革課>

「調布市における監理団体活用の考え方」に基づき、監理団体が実施している市からの委託事業等に関して、評価する仕組みを検討し、試行実施します。

◆ 市民サービスの提供主体の見直し

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン14 指定管理者制度の活用<担当：行財政改革課>

指定管理者制度導入施設について、指定管理者による施設の管理運営状況等に関する評価を実施し、その結果を公表します。また、指定管理者による施設の管理運営状況等に関して、外部の視点も含めた第三者的な視点からの評価を試行実施します。

◇ プラン16 学童クラブとユーフォーにおける運営方法の検証・児童館の在り方検討<担当：児童青少年課>

民間活力を導入した学童クラブ・ユーフォーの運営状況に関する検証の仕組みづくりに取り組みます。また、子ども・若者を取り巻く社会状況等を踏まえ、児童館の機能や役割等、今後の在り方に関する基本的な方向性の整理に取り組みます。

◆ 市民に信頼される市政の推進

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン18 情報セキュリティの強化<担当：情報管理課>

マイナンバー制度の開始等を踏まえ、適正な情報システムセキュリティを確保していきます。また、庁内におけるUSB機器の保有状況を踏まえ、運用方法に関する見直しの検討を行います。

◇ プラン19 契約事務の透明性の向上<担当：契約課>

契約事務における透明性の向上を図るため、特命随意契約の公表範囲を拡大します（年度当初契約のうち総価契約（委託料））。

◆ 広域的な連携の推進

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン20 災害時における他自治体等との連携の推進<担当：総合防災安全課>

平成27年度に災害時相互応援協定を締結した遠隔地の自治体と、平常時における防災活動の情報共有等を通じて、協力関係の向上につなげていきます。

◆ 専門性を有する人材の確保と育成

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン21 政策法務能力の向上<担当：総務課>

任期付職員として採用する法務専門職を配置し、庁内における法務事務や例規事務に関する推進体制の強化を図るとともに、職員に対する研修等の実施を通じて、政策法務能力の向上を推進します。

◆ 人事・給与制度の見直し

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン23 仕事へのやりがいや意欲を高めるための仕組みづくり<担当：人事課>

庁内公募制や若手職員を早期に育成するためのチューター制度、仕事上などの悩みに対応するためのメンター制度等を活用しながら、組織全体の活性化に取り組みます。

また、市政の中核となる職員を着実に育成していくため、職員の長期的なキャリア目標に関する経年的な管理に取り組みます。

◇ プラン24 各種手当の見直し<担当：人事課>

各種手当について、国や東京都、近隣他市の状況などを踏まえ、適切な見直しの検討や実施に取り組みます。

◆ 研修の推進

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン25 人材育成基本方針に基づく研修の推進<担当：人事課>

「第2期調布市人材育成基本方針」に基づく各種研修を実施するとともに、「調布市職場研修ガイドブック」の活用などによる職場研修の推進を図ります。

◆ 職員の勤務環境の向上

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン26 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の推進<担当：人事課>

平成27年度に策定の「調布市特定事業主行動計画 第六次行動計画」に基づき、計画的な休暇取得の推進や育児・介護制度の活用促進など、仕事と家庭生活の調和を実現できる職場環境づくりを推進します。

◇ プラン27 女性職員のキャリア形成支援等の推進<担当：人事課>

平成27年度に策定の「調布市特定事業主行動計画 第六次行動計画」に基づき、女性職員を対象としたキャリアデザインに関する研修の実施や、メンター制度の活用により、女性職員の昇任意欲を喚起します。また、男性職員を含む意識改革や働き方の改革の促進などを通じて、女性職員の活躍推進を図ります。

◆ 計画の推進

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン28 公共施設等の総合的な管理の推進<担当：政策企画課・行財政改革課・営繕課・関係各課>

「調布市公共施設白書」において整理した公共施設に関する現状や課題、行財政改革推進会議における官民連携の推進に関する議論を踏まえ、今後におけるインフラを含めた公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本的な方針を示す「(仮称)公共施設等総合管理計画」を策定します。

また、「調布市公共建築物維持保全計画」等に基づく改修工事等について、計画的に取り組みます。

◇ プラン29 市庁舎更新の検討<担当：管財課・政策企画課>

平成27年度に実施した市庁舎の耐久性調査及び耐震化に関する費用対効果の検証を踏まえて、免震改修に向けた準備に取り組みます。また、市庁舎の更新課題について、引き続き将来を見据えた検討を進めます。

◆ PDCAマネジメントサイクルによる行財政運営

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン31 行政評価システムに基づく行財政運営の推進<担当：行財政改革課>

財務会計システムと連動した行政評価支援システムを活用し、各施策・事務事業における前年度の取組を振り返り、評価結果に基づく見直し、改革・改善につなげる取組を継続します。また、行政評価支援システムの運用上における課題を整理し、システムの更新に向けた準備に取り組みます。

◆ 健全な財政運営

【平成28年度の主な取組】

◇ プラン34 債権管理の推進<担当：財政課・総務課・関係各課>

市が保有する債権について、統ルール等に基づく管理により、収納の向上を図り、収入未済額の縮減につなげます。

◇ プラン35 補助金と受益者負担の適正化<担当：財政課・行財政改革課>

補助金等の交付状況を公表するとともに、平成27年度に補助金等審議会から答申された補助金等交付基準及び評価・見直し基準を活用し、必要な見直しや改善につなげます。また、使用料・手数料の見直しや新設の検討などを継続的に行い、受益者負担の適正化に取り組みます。

◇ プラン36 新公会計制度への対応<担当：財政課・管財課・会計課・関係各課>

国が示している統一的な基準を踏まえた財務書類等の作成や固定資産台帳の整備について、他団体の動向にも留意しながら対応を図っていきます。

◇ プラン38 市税収納率の維持・向上<担当：納税課>

期限内納付の推進をはじめ、コンビニ、モバイルレジ収納、Pay-easy(ペイジー)口座振替受付サービスなどによる納付環境の向上、電話催告システムを使用した早期電話催告や納付推進員を活用した財産調査による収納体制の整備など、市税収納に関する効果的・効率的な手法を使い、収納事務の効率化を図りながら、引き続き収納率の維持・向上に取り組みます。

◇ プラン39 国民健康保険税収納率の維持・向上<担当：保険年金課>

期限内納付の推進をはじめ、コンビニ、モバイルレジ収納、Pay-easy(ペイジー)口座振替受付サービスなどによる納付環境の向上、電話催告システムを使用した早期電話催告や納付推進員を活用した財産調査による収納体制の整備など、国民健康保険税収納に関する効果的・効率的な手法を使い、収納事務の効率化を図りながら、引き続き収納率の維持・向上に取り組みます。

